



情報の港 大垣市情報工房

文化の港 住吉燈台



水門川の住吉燈台付近（船町地内）
歳入では、根幹をなす市
税収入をほぼ前年度当初予
算並みと見込んだほか、そ
他の財源も的確な見込み
に努めた。

歳出では、公債費など義
務的経費の増嵩による財政
の硬直化が一段と進む極め
て厳しい財政状況を十分認
識し、第三次行政改革大綱
の着実な推進を基本とし
て、徹底した事務事業の見
直し、経費全般にわたる節
減合理化を図り、経常的な
施策への重点かつ効率的な
財源配分に努めた。

①都市基盤整備と産業振興
都市インフラ整備は、十
年、二十年先の都市づくり
の礎となる重要施策であ
り、継続した着実な整備が
必要である。

幹線道路では、北部地域
での昼飯大島線第三工区の
整備を引き続き推進するほ
か、県が施行する大垣駅北
口線の進ちょく、曾井中島

環境の世紀でもある二十
世紀の都市政策は、環境
との調和を基本として展開
しなければならない。「環
境基本計画」や「緑の基本
計画」の着実な実行はもと
より、本年十月に取得予定
の環境管理国際規格（IS
O 14001）を契機に、高
度に充実した環境保全対策に努める。

**②生活環境の向上と福祉の
充実**
環境の世紀でもある二十
世紀の都市政策は、環境
との調和を基本として展開
しなければならない。「環
境基本計画」の着実な実行はもと
より、本年十月に取得予定
の環境管理国際規格（IS
O 14001）を契機に、高
度に充実した環境保全対策に努める。

一方、昨年、円滑な導入を
図ることができた介護保険
制度と従来の福祉サービス
との適切な連携のもとに、高
齢者の生きがい対策や自立
能力の向上につづく

平成十二年度予算などを審議

第一回市議会定例会

十八件
五件

- 一般会計 四百五十九億七千万円
- 特別会計 五百二十七億八千万円
- 企業会計 一千二百五十八億一千六百万円
- 総計 一千二百五十八億一千六百万円

平成十二年度予算編成 の基本方針

◇予算関係
◇条例関係
◇その他

さる三月五日から二十六
日までの日程にて三月定例
会が開催され、平成十三年
度予算について慎重かつ活
発な議論のなか審議し原案
通り可決しました。

四月二十二日に行われた
大垣市長選挙で、第十三代
市長に小川 敏氏が当選さ
れました。

小川市長は、翌二十三日
に初登庁され、職員から歓
迎の花束が贈られました。

また、四月から施行され
る「家電リサイクル法」に
基づく家電四品目の収集を
始め、七月からは大型ごみ
の戸別収集、有料化をス
タートさせ、リサイクル及
びごみ減量化の一層の推進
を図りながら、大量消費、
大量廃棄からの脱却による
循環型社会の実現をめざし
た歩みを進める。

産業面では、中心市街地
活性化策としてTMOが
実施する各種事業への助成
を図るとともに、IT関連
産業の振興についても、引
き続き県と歩調を合わせな
がら推進する。とりわけ、引
來春には就労サポート施設
「ワーケーション・二十四」
の完成により、一段と情報
発信基地としての機能が高
まるソフトピアジャパン及
び情報工房を核として、各
種の施策展開に努める。

福祉政策面においては、
市民が安心して子育てや老
後を過ごすことができる福
祉環境の充実は、市民共通
の願いであるとともに、都
市間競争時代における本市
のアイデンティティーを高
める重要な要素である。

福祉政策面においては、
市民が安心して子育てや老
後を過ごすことができる福
祉環境の充実は、市民共通
の願いであるとともに、都
市間競争時代における本市
のアイデンティティーを高
める重要な要素である。

特に、少子化対策として
の子育て環境整備につい
て、本年は従来の特別保育
に加え、休日保育を新たに
実施するほか、乳幼児医療
での無料対象を五歳未満児
の入院まで拡大し、女性が
働くことと子育てを両立で
きるよりよい環境づくりを
推進する。

一方、昨年、円滑な導入を
図ることができた介護保険
制度と従来の福祉サービス
との適切な連携のもとに、高
齢者の生きがい対策や自立
能力の向上につづく

新市長初登庁 第十三代市長に小川氏



支援のためのきめ細かな福祉サービスの提供に努める。

③生涯学習の推進

新世紀を生きる子どもたちに、文教都市の伝統に根ざした生涯学習環境を提供していくことは、本市の特色の一つでもあり、国の教育改革の先駆けとなる学社融合による開かれた学校づくりなどと相まって、創造性あふれる人づくりのための施策展開である。

国「教育改革国民会議」の最終報告で提言された教育振興基本計画の策定や、新しい時代にふさわしい教育基本法の見直しなどの動向を十分見極めながら、「個性」と「責任」をキーワードとする岐阜県方式の教育制度と歩調を合わせて、統一

育基本法の見直しなどの動向を十分見極めながら、「個性」と「責任」をキーワードとする岐阜県方式の教育制度と歩調を合わせて、統一

育基本法の見直しなどの動向を十分見極めながら、「個性」と「責任」をキーワードとする岐阜県方式の教育制度と歩調を合わせて、統一

の施策展開である。

そのため、校長のリーダーシップのもとで組織的、機動的な学校運営を行う学校評議員制度や総合的な学習への対応としての学校夢づくり事業の充実を初め、十四年度から学校週五日制に向けた総合的な対応など、創意にあふれ、一層地域と連携した教育環境づくりを推進していく。

④自立都市への歩み

本格的な地方分権時代における都市の主体性、自立性を發揮し、個性あるまちづくりを推進していくため

第三次行政改革大綱の着実な推進を第一として、時代にそぐわなくなってきた

事業や負担の公平性の観点から改正すべき事業などの見直しを図り、限られた財源の合理的配分に努めた。

以上のような重点的な考え方をもとに、的確に市民ニーズを把握しつつ、生活環境水準の向上を目指して、きめ細かな事業展開を

平成十三年度大垣市一般会計予算の内訳は、四面のグラフをご覧ください。

平成十三年度大垣市一般会計予算の内訳は、四面のグラフをご覧ください。

ISO14001の認証取得については、環境保全に関する取り組みが社会全体で求められているなか、市役所も自ら事業活動に伴う環境への影響を把握し、改善することとした。その

前年度比四十七・二%減少している。主な事由としては、無財産、生活困窮、行方不明などであり、やむを得ず欠損をしている。

が、四百九十八万円余、対策として、不動産、滞納処分として、不動産、所得税還付金、生命保険金等の差し押さえをさらに実施し、時効により消滅する

いきたい。

未納者に対する取り組みとしては、現年度内において早期完納になるよう、文書による催告を初め訪問や電話による納付依頼を、夜間、休日、早朝にも実施している。今後とも、税負担の公平性と市税の収納額向上を目標に努力したい。

行政事務効率化を推進するため、年度初めにパ

ソコで、不納欠損、滞納繰越ではないか。府内情報システムの中でも税収確保をするべきではないか。

答弁・平成十一年度の不納欠損額は、市税については六千八百八十三万円余である。そのなかで地方税法第十八条によるもの、すなわち時効により消滅するもの

には、まず行政自らが効率的で高品質な事務処理体制を確立し、無理、無駄のない適切な施策選択と着実な実行に努める必要がある。

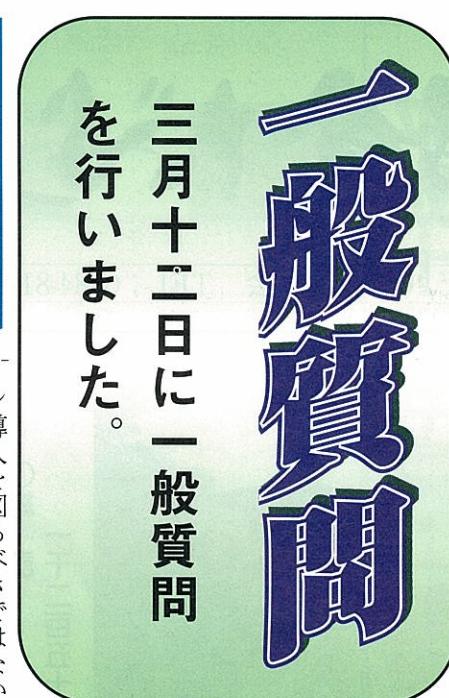
そうした意味から、まずそのため、校長のリーダーシップのもとで組織的、機動的な学校運営を行う学校評議員制度や総合的な学習への対応としての学校夢づくり事業の充実を初め、十四

年度から学校週五日制に向けた総合的な対応など、創意にあふれ、一層地域と連携した教育環境づくりを推進していく。

そのため、校長のリーダーシップのもとで組織的、機動的な学校運営を行う学校評議員制度や総合的な学習への対応としての学校夢づくり事業の充実を初め、十四

年度から学校週五日制に向けた総合的な対応など、創意にあふれ、一層地域と連携した教育環境づくりを推進していく。

そのため、校長のリーダーシップのもとで組織的、機動的な学校運営を行う学校評議員制度や総合的な学習への対応としての学校夢づくり事業の充実を初め、十四



平成十三年度予算について

質問・税収増が見込めない

中で、不納欠損、滞納繰越

分の減少をさらに図り、少しでも税収確保をするべきではないか。

行政事務効率化を推進する

ために、年度初めにパ

ソコで、不納欠損、滞納繰越

ではないか。

<p

室を待合室に改修する予定。また、自動販売機の設置についても利用者アンケートの設置要望件数が年間一~二件である現状から設置を見合わせている。しかし、利用者の方には、施設周辺の自動販売機の設置場所がわかるような、表示を行っていく。

市民病院の待ち時間短縮を

質問…市民病院は一日三千人を超える外来患者となつていて。患者さんが、気分が悪く長時間待つことはとても苦痛であると思う。予約制を取り入れるなど努力をされているが、さらなる待ち時間短縮のために、オーダリングシステムの導入及び薬の院外処方を取り入れてはどうか。



「垣老」・敬老祝金見直し反対

質問…老人医療費助成制度(「垣老」)・対象六十五から六十八歳)は、所得制限つきだが低所得者に喜ばれ、三十年近くも存続し、まちづくりの基盤の一つでもある。これを事前の議会審議門に即座に伝達されるシステムは、診療の現場で医師や看護婦が直接コンピュータの端末を操作し、処方や検査などの各種オーダーを直接入力するシステムであり、その情報は、薬局、検査室及び医事会計などの関連部門に即座に伝達されるシス

テムで、待ち時間の短縮にもつながる。しかし、このシステムについては、医師の業務が増加することや導入に際し高額な費用が必要になるなどの課題もあり、院内電算化委員会を中心に行っているところである。

院外処方の採用は、かかりつけ薬局による薬歴管理や待ち時間がより一層緩和されるなどの利点があるが、一方で患者さんが当院での診療と院外薬局での調剤の二度手間になることや、処方箋料や調剤基本料など、医療費の負担増になるケースもある。このように院外処方にはメリット、デメリットがあるが、患者さんへのサービス向上のための必要性を十分認識し、薬剤師会のご協力を得ながら実施に向けての検討を重ねている。

答弁…患者さんの待ち時間の緩和については、これまでに、診療科における予約制の導入や薬局に全自动錠剤分包機等の導入をするなど、待ち時間の短縮に努力している。また、医療機関の機能分担を図るため、他の病院との連携にも努めているが、一日三千人余りの外来患者があり、待ち時間の解消に至っていない。

ご提案のオーダリングシステムは、診療の現場で医師や看護婦が直接コンピュータの端末を操作し、処方や検査などの各種オーダーを直接入力するシステムであり、その情報は、薬局、検査室及び医事会計などの関連部

門に即座に伝達されるシステムで、待ち時間の短縮にもつながる。しかし、このシステムについては、医師の業務が増加することや導入に際し高額な費用が必要になるなどの課題もあり、院内電算化委員会を中心に行っているところである。

院外処方の採用は、かかりつけ薬局による薬歴管理や待ち時間がより一層緩和されるなどの利点があるが、一方で患者さんが当院での診療と院外薬局での調剤の二度手間になることや、処方箋料や調剤基本料など、医療費の負担増になるケースもある。このように院外処方にはメリット、デメリットがあるが、患者さんへのサービス向上のための必要性を十分認識し、薬剤師会のご協力を得ながら実施に向けての検討を重ねている。

答弁…大垣市老人医療費助成制度(「垣老」)については、以前から見直し、廃止の一歩の意見があり、市では、福祉のあり方について、さまざま角度から検討を重ねることとし、垣老制度が市民に定着している現状では、廃止ではなく、国、県の動向を踏まえつつ、財政事情を考慮し、制度の存続を前提として、所得制限の引き下げ、対象年齢の引き上げ、一割負担の導入の三案を検討した。

その結果、一割負担の導入案が、介護保険の自己負担額や、介護保険から外れた方に対する福祉サービスの利用料も、原則一割負担になることとなるので、この案が適当であるとの結論に達した。

大垣市行政改革推進審議会においても、老人医療費助成事業(「垣老」)は、本市の特色ある制度であるため、財政状況を考慮し、事業の構築が必要ではないか。

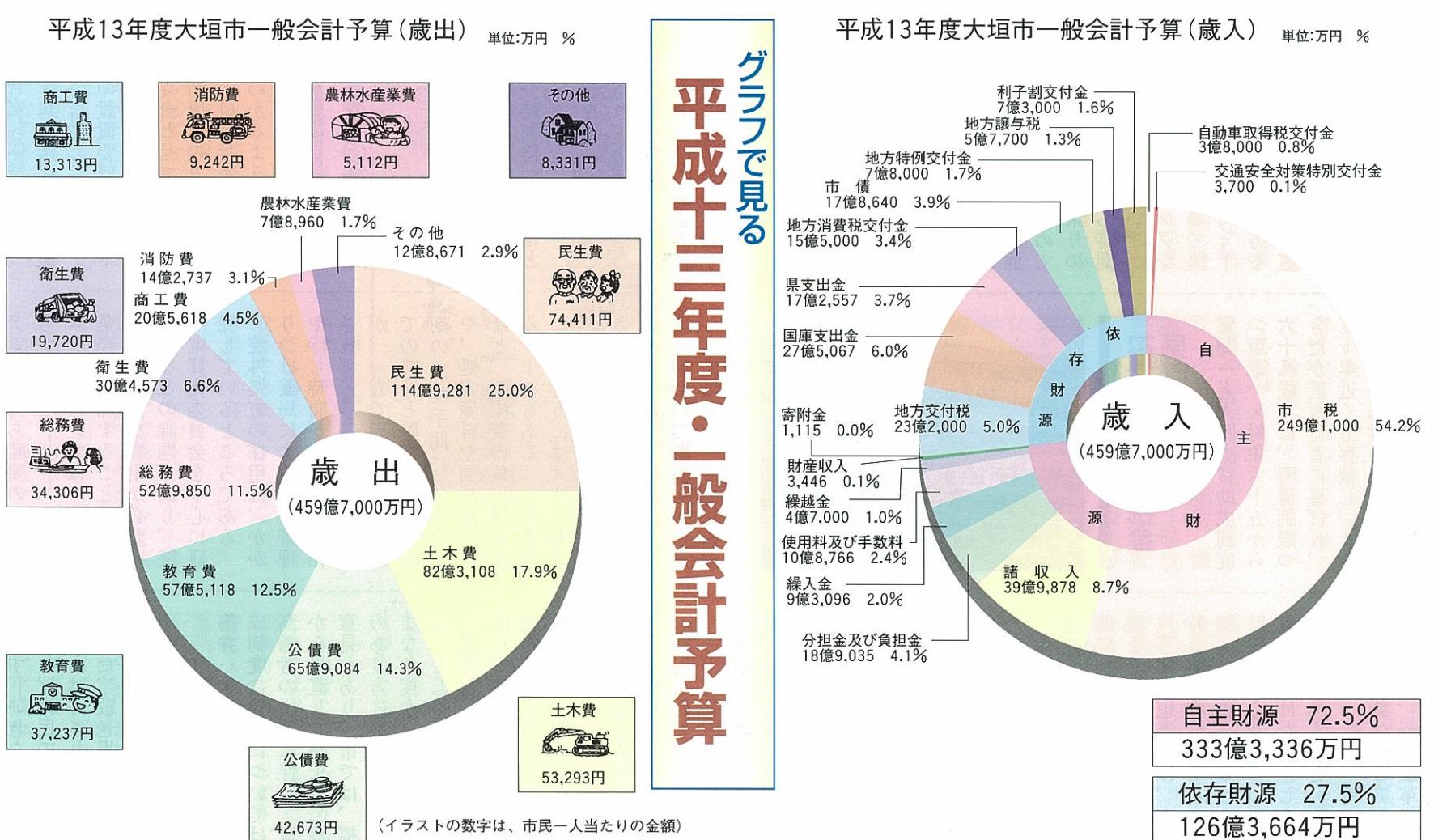
答弁…この案が適切であるとの結論に達した。

これまでどおり全員が該当となるので、この案が適切であるとの結論に達した。

大垣市行政改革推進審議会においても、老人医療費助成制度の見直し案等の審議を受け、「老人医療費助成事業(「垣老」)は、本市の特色ある制度であるため、財政状況を考慮し、事業の構築が必要ではないか。

答弁…この案が適切であるとの結論に達した。

これまでどおり全員が該当となるので、この案が適切であるとの結論に達した。



第一回定例会で 議決した主な条例

一、大垣市議会政務調査費の交付に関する条例の制定(四月一日施行)
二、大垣市条例の左横書き等に伴う措置に関する条例の制定(四月一日施行)
三、大垣市乳幼児医療費の助成に関する条例の一
部改正(四月一日施行)
四、大垣市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正(七月一日施行)
五、大垣市下水道条例の一
部改正(十月一日施行)
六、大垣市老人医療費助成金条例の一部改正について、
大垣市議会定例会で可
決された意見書は、次と
おりです。

◎農産物の緊急輸入制限措置の発動に関する意見書
岐阜県においては、全国に先駆け岐阜県民食料確保計画を策定し、食料自給率五〇%を目指し掲げ、その向上に努めているところである。しかしながら、ここ数年、農産物輸入量の激増に伴い、市場価格が急落し、このまま価格の低迷が長期化すれば農業経営を圧迫し、生産意欲の減退、食料自給率の向上等に大きな支障を来すことが懸念される。よって、政府においては、生産者に対する生産の維持を図るため、農産物輸入急増による損害等について早急に調査を行い、重大な影響が出ている品目については、WTO協定に基づく緊急輸入制限措置(一般セーフガード)を機動的に発動するとともに、その手続などを早急に見直すよう要望する。右、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

大垣市議会
平成十三年三月二十六日

意見書の採扱
第一回市議会定例会で可
決された意見書は、次と
おりです。
この意見書は、国会をはじめ、内閣総理大臣及び関係各大臣に実現されるよう
要望するものです。

あなたも傍聴してみませんか
傍聴する前に傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢を記入ください。
傍聴者に守っていただきこと
○議場内の言論に拍手等で可否表明をしない
○はち巻き、腕章、帽子等を着用しない
○飲食や喫煙をしない
○議長の許可なく写真撮影や録音をしない
○議会の妨害をしない
○携帯電話の電源は入れない
傍聴席には車いす席が4席あります。
※団体で傍聴を希望される方は、事前に議会事務局へご連絡ください。
(議会事務局/電話81-4111 内線734)